

堀池 理央

所属大学：佐賀大学 経済学部 経済科

県内インターンシップ先：(株)JTB 九州佐賀支店

留学先：トロント（カナダ）

留学期間：2016/9/12～2017/2/24（3年次）

受入機関名：SGIC language school

活動概要と成果

語学力を磨きつつ、語学学校の友だちや先生、下宿先の家族やそのいところなどに様々な聞き取り調査を行った。「日本に旅行した際、どんなことを求めるか?」「やってみたいことは?」「日本についてどのくらい知っているのか」など、それをもとに毎週プレゼンをする機会があったので主に学校で、佐賀県の魅力や日本の魅力について丁寧に説明した。また、質問コーナーなどを作りより、深く知ることのできる機会をつくった。どのようなものが外国人に人気があるのか、魅力があるのか知る良い機会になった、アニメは一部の人だけが興味を持ち、スタジオジブリなど有名なものだけが知られていると思っていたが、アニメは大勢の人に浸透しておりスタジオジブリだけでなく日本で流行っているものからマイナーなものまで世界に流通していることを知った。ご当地キャラも知られており、佐賀県のご当地キャラを広める余地はあると感じた。また、外国人が日本に求めることとしてたくさんあり特に近年、日本酒や温泉など日本の文化体験を求めるものが多くなってきている。それらを生かしたツアーを提供するのはどうか。また、佐賀県の欠点を改善していく策を考える必要があると感じた。

日本発信プロジェクト活動概要と成果

○後輩への留学促進および日本への観光促進

ー実行したこと

カナダにいる際、積極的に日本旅行を呼びかけプランやおすすめ観光地をピックアップし説明し、日本旅行へ行く際の英語版や韓国語版のインターネットサイトを紹介した。また、日本から持って行った佐賀の観光パンフレットを友人や日本へ行きたいと思っている人にプレゼントした。輩への留学促進も行った。友人、後輩が留学に行きたいと考えていると相談されたが、お金や所属する大学の休学などで迷っていると言われたため、自分の経験を織り交ぜながらアドバイスをした。自分も留学に行きたい

がお金や学校などの悩みもあったためより具体的なアドバイスができた。行くか行かないか迷っている人には積極的に利点を話し、また、留学前にしておけばよかったことや留学中の過ごし方の後悔を伝えた。

ー成果・気づいたこと

日本への旅行を考えていた友人が実際に来日し佐賀の良さをアピールした。また、日本について深く知ってもらう機会がたくさんあったおかげで日本へのイメージアップをできたのではないかと考える。今すぐ来日とはいかないが将来日本へ来る良いきっかけになればと思う。後輩や友人にも留学を考えている人はたくさんいるが、いざ実行にうつすのは難しく、よほどの思いがないと何かのきっかけや誰かのひとおしが必要ではないのか、また体験談などが聞ける実際に行った人がいたほうがいきやすいのではないかと感じた。アドバイスをした何人かは実際に留学しており少しだが力になれたのではないかとうれしく思う。また、トビタテを進めた地元の後輩が実際に使っていったのでよかった。

留学中及び帰国後の活動を通じて最も成長した経験とそこから学んだこと

最も成長したと感じたのは外国の異文化体験や外国人の思想を理解することでもあるが、より感じたことは日本に対する考え方、日本という国をより理解したことが最も成長したことだと感じた。外国に長期間住んでいると日本と外国の様々な比較を考える機会が多くなり、外国のことを知るたびに日本のこともより深く知る機会となった。今まで当たり前だと思っていたことが実はそうでないと感じた。性の考え方、宗教、各国の政治状況や環境、、、多くの人の話を聞いて毎日が驚きであり発見の連続だった。留学前と後では自分自身の考え方が大きく変わり、ものをみる見方が変化した。これが最も成長したことではないかと考える。また、いろいろ考えることも大事だが自分でやってみることも大切であり何事も挑戦するようになった。

あなたにとっての留学の価値

言葉では表せないほどの価値があった。いつもとは違う生活を経験することは自分にとってとても良いことであり今の私の軸になっている。また、この留学が私の将来を決めるよいきっかけとなった。留学がなければ今の私はないし、留学しなければ就職活動も軸がぶれて上手くこなせていなかったのではないかと考える。留学中は周りの影響をたくさん受け、自

分自身が成長する期間であった。また、この留学がとても素晴らしいものであったのでまた留学したいと思うようになったり、この体験をほかの人にも味わっていただきたい、自分だけでなくほかの人も自分と同じように成長する機会となればと思うようになった。周囲に留学を進めるきっかけとなった